

## 地方独立行政法人大阪府立病院機構 過去の評価結果

					評価すべき点								
全体評価 全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している					<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各病院が大阪府の医療施策の実施機関として担うべき医療（政策医療）を着実に実施し、診療機能の充実と患者サービスの向上に努めている</li> <li>○ 法人化後、自律性、機動性を発揮して、経営効率の改善に取り組んでいる</li> <li>○ 5病院統合による経費節減の効果が小さくなる中で、新入院患者の確保や診療単価の向上等による収入増を図り、資金収支を大幅に改善した</li> <li>○ 患者の視点に立った医療の充実や院内環境の改善が行われており、病院スタッフの努力と積極的な取組みによるもの</li> <li>○ 法人化後、既存の経営資源をうまく活用することで、診療機能の充実、患者サービスの向上や経営効率の改善などに取り組み、様々な成果を挙げている。特に、患者の確保や診療単価の向上等による収入増を図り、目標を大幅に上回って資金収支を改善したことは高く評価できる</li> </ul>								
府民に提供するサービスその他の業務の質の向上 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>H18</td> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table> A：計画どおり					H18	H19	H20	H21	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般的な医療機関とは異なり、臨床研究や治験を通じて先進医療に積極的に取り組んでいる</li> <li>○ 各病院が、その自律性や機動性を発揮し、人材の確保や診療機能の充実、サービスの向上、運営の効率化などを図られている</li> <li>○ 府立の病院として府民との協働の取組みを進めるため、NPO 法人の院内見学や多様な病院ボランティアを積極的に受け入れている</li> <li>○ ホスピタルプレイスペシャリスト等による新しい取組みは、医師や看護師にも良い影響を与えており、患者の立場から見ても評価できる</li> <li>○ 母子保健総合医療センターにおける、高度医療を受けた小児・家族に対する心のケアの充実・在宅医療の推進の取組みは、全国的にも先進的である</li> <li>○ 医師の確保については、評価の給与への反映や、新たな手当の創設など、待遇の改善を図り、定着に向けた取組みを進めており、看護師の確保についても、全国的に困難な状況にあるが、5都市で地方選考を実施するなど、人材の確保に努めている</li> <li>○ 外来待ち時間の短縮や負担緩和への取組み、CT・MRI、土曜日検査の実施、検査待ちの改善、母子保健総合医療センターにおけるリアルタイム検査サービスの提供など、待ち時間対策として、5病院で様々な努力をしている</li> </ul>
H18	H19	H20	H21										
A	A	A	A										
業務運営の改善及び効率化 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>H18</td> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table> A：計画どおり					H18	H19	H20	H21	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地方独立行政法人へ移行し、法人として一体となって取り組み、財務面での成果がでている。組織統合によるシナジー効果も表れており、総長や院長の意識改革が進んでいると見受けられる</li> <li>○ 病院視察を通じて、現場スタッフの意識変化を実感した</li> <li>○ これまでの新入院患者の確保や診療単価の向上の取組み等の努力が実り、診療実績の伸びが財務の改善にも貢献した</li> <li>○ 急性期・総合医療センターにおいて、診療所等地域医療機関との連携を徹底することで、患者の紹介、逆紹介を通じた双方向の関係を構築し、患者確保に向けた努力をされていることは評価できる</li> </ul>
H18	H19	H20	H21										
A	A	A	A										

財務内容の改善

H18	H19	H20	H21
A	B	A	A

A：計画どおり進捗

B：おおむね計画  
どおり進捗

○ これまでの経営努力が実り、不良債務の解消という目標に対して、計画どおりの結果につながっている

○ 医業収益の拡大に取り組むとともに、材料費等の費用の増加を抑制して、資金収支の黒字を実現し、財務内容の改善を図った